



防災かわら版

みずき野の

個別避難計画を

作成しています。

知っていますか？ 個別避難計画



あなたの未来を
本気で考える。

注記

本かわら版では「個別避難計画」を「避難計画」と表記しています

発行

守谷市役所 社会福祉課 社会福祉グループ



そもそも避難計画ってなに？
どうやって作ってるの？

市役所、社会福祉協議会では、みずき野6丁目（8丁目にお住まいの要支援者（災害時、お一人での避難が困難な方）お一人おひとりの避難計画を作成しています。

ギモン

1

ひなんけいかく
避難計画ってなに？

要支援者が災害時に、「どこに・誰と・どうやって」避難するかを、地域の方たち、市、社会福祉協議会、福祉事業所等と一緒に考え、事前に計画としてまとめるものです。



ギモン

2

なぜみずき野で作るの？

1

しんすい そうてい くいき がいどう
浸水想定区域に該当

2

よろし えんしゃすう しなさいた
要支援者数が市内最多



守谷市ハザードマップ抜粋



6丁目から8丁目の
大部分が該当してるね

事前の備え



ご近所さんとの繋がり

災害時の被害の軽減を目指します！

避難計画ってどうやって作るの？

Step

01

要支援者に計画作成の同意確認

市に登録されている要支援者さんのお宅に市職員が訪問し、避難計画のご説明と作成の同意確認を行いました。



要支援者（右）と奥様

Step

02

心身の状況・支援候補者の聞き取り

足の痛み等で長距離歩行が困難なこと、ご近所の方と普段から交流があり、災害時にはお互いに協力し合いたいとの確認。



Step

03

ご近所の支援者に支援依頼

ご近所の支援者に要支援者・市職員から趣旨説明。災害時、出来る範囲での支援協力を快諾。



近所にお住まいの支援者

Step

04

避難計画の作成

要支援者宅にて、普段の生活の状況や災害時のご不安、支援して欲しいこと、緊急時の連絡先などをお互いに共有しました。



要支援者宅にて計画の話し合い

※作成方法は要支援者によって異なります



地域にお住まいの要支援者の様子を
知ることができた。



支援者の方

必要な支援内容を話し合えたので、
心構えができた。

普段は話せないことも話す良い機会となった。
状況を知らせてもらうことができ安心した。



要支援者と家族

地域の民生委員さん

／ 必要に応じて民生委員さんにも計画作成の場に同席していただいています／

9月3日(日)実施

自主防災隊による
安否確認訓練

◀みずき野7丁目指揮所の様子



みずき野地区では丁目ごとに自主防災隊を結成しており、みずき野全体で約200名程度の隊員の方がいらっしゃいます。9月3日(日)に、自主防災隊の方々による安否確認訓練が実施されました。隊員の方々は当日決められた範囲を1軒ずつ回り、玄関等に掲示された「無事です」カードを確認。カードの掲示のない方には、災害時のカード掲示を呼びかけ、丁目ごとに集計した安否確認情報は、みずき野集会所に設置された本部に報告↓情報の集約↓市に報告しました。



▲安否確認の様子



▲本部の様子

地域の皆様へ

守谷市内での避難計画の作成は、令和4年度からスタートしています。災害時に備えた日頃からの取組みを通し、要支援者本人、そのご家族、そして地域の方の安心に繋がっています。避難計画の作成を進めるにあたり、地域の皆様には、

「 地域での支え合い＝共助力 」

のより一層の推進をよろしく申し上げます。

問合せ先

避難行動要支援者制度・個別避難計画に関すること

守谷市役所 社会福祉課 社会福祉グループ 0297-45-1111 (内線162)

◀守谷市避難計画ホームページ▶

